

仲間の声

■初めて整体に行ってみました。何と、35歳以上の身体と言われてしまい、ショックを受けています。(まだ20代なのに...)今から少しずつ身体のメンテナンスをしていこうと反省しました。

徳原 尚子(東大阪市職労)

兼田 康子(八尾市職労)

■木下恵介監督の映画をもう一度見直したくなりました。何回見ても考えが深まる映画ばかりです。ほのぼのとした日常の中に人間の強いものを感じたい。じっくりと見られるものはありますか。

中井 芳輝(大阪府職労)

■障害者入所施設の現場で再任用3年目です。62歳ですが、まだまだがんばります。他の職員に再任用の制度や運用の問題を知ってほしいし、組合役員にも制度問題を考え、改善してほしい。また、利用者や家族にもっと配慮される施設にしたいものです。

若杉 絹子(吹田市職労)

■今年は選挙もあり、夏のイベントあり、毎日、忙しさがはびこっています!!

向井 務(堺市職労)

■「アベノミクス」とマスコミでは騒いでいますが、私たちにとっては全く実感がわきません。一連の橋下市長の発言やそれを擁護する政治家の態度に、なんだかさびしい思いをさせる、この頃です。

人件費は「財源」ではない！ 市民のためのものだ！

「財政問題学習会」

(泉佐野市職労)

困難な時だからこそ「学ぶ」

千代松市長の独裁・暴走とたたかう泉佐野市職労では、「困難な時ほど学習」を合言葉に、学習会を繰り返しています。直近では大阪自治体問題研究所に財政分析を依頼し、7月17日には財政問題学習会を実施しました。

学習会では、人件費8%カットを前提とした実施プランはそもそも必要がなかったこと、及びこの間の人



「学べば、力」ー7月17日の財政問題学習会

件費の削減が赤字の穴埋めや借金の返済にあてられ、しかも千代松市長就任以降は市長の公約実現の「財源」に使われてきたことが明らかにされました。

「人件費」の考え方を意思統一

人件費の単価を削り、職員数も減らし、10年前から半減している職員数を、幼保一体のこども園構想、ごみ収集の全面委託や、民間委託・民営化、職員の非正規化によりさらに削減しようとしています。

人件費は「財源」ではなく、福祉や市民の暮らしを充実させるためのものであることを明らかにしていこうと意思統一しました。

仲間情報ひろば

いずこへ? by 柳

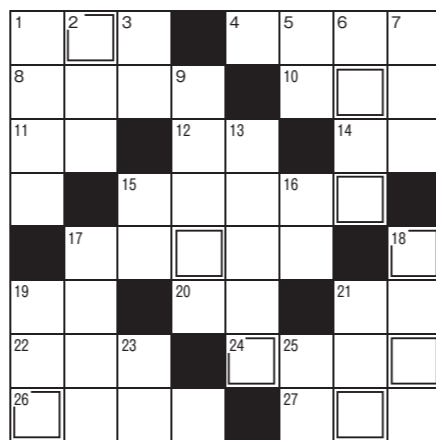


そんな感じするもんず。あかして、今もオチの持ち帯。

クロスワードパズル

(解き方)二重ワクの文字を並べ替えて意味の通る言葉にしてください。

出題者：山本汎昭さん



ヒント：灯火管制がなくなった日

- タテのカギ
- 1 菓子を入れた折り箱
- 2 ○○○貴族
- 3 ○○○より年の○○
- 4 ○○○でもテコでも動かぬ
- 5 ○○○でまえ。改革に○○○○を振
- 6 ○○○列車にご注意を
- 7 ○○○土をすき起こすための機械
- 8 富士山湾等で物体が空中に浮かんで見えたりする現象。逃げ水。
- 9 暗にそそのかすこと。○○に富む
- 10 目が○○になる
- 11 憲法で保障されている基本的○○
- 12 ○○○に手紙をしたためる
- 13 夕焼け空の○○○○
- 14 ○○○を浴びて超気持ちいい
- 15 ○○○的なごまかし
- ヨコのカギ
- 1 女性が手紙の末尾に用いる語
- 2 短気な○○○○は直らない
- 3 ニューヨークにそびえ立つ○○
- 4 ○○○の女神
- 5 これは○○の一手だ
- 6 土用の○○の日
- 7 三十一文字。短歌に同じ
- 8 彼女の結婚の際の○○○○は3000万円とか
- 9 ○○○が浮かんだ
- 10 千を表す単位。100グラム
- 11 新しいこと。○○設
- 12 一家の喜りし向き。○○○が苦しむ
- 13 つつむけに同じ
- 14 胸のうち。○○○○になし
- 15 天変地異で食糧が欠乏すること

5月号・6月号の当選者

6月号の解答 「ジンケンヨウゴ」 (32通の回答)

カ	ク	キ	ミ	シ	カ	ジ
チ	ヤ	サ	シ	チ	ヨウ	ウ
ソ	ク	ヤ	シ	ウ	キ	ウ
ウ	フ	ク	ヨウ	ウ	キ	ウ
セ	ン	タ	ク	シ	ソ	ン
ケ	イ	ド	イ	ソ	ン	ン
イ	ホ	ウ	ウ	チ	ウ	ミ
ト	ク	パ	イ	エ		

5月号の解答 「サンギンセンキョ」 (32通の回答)

ジ	マ	ク	タ	ク	ハ	イ
リ	ヨ	ウ	シ	リ	ク	チ
ヒ	ケ	ヨ	ウ	シ	キ	ジ
ウ	サ	ン	フ	シ	エ	ン
サ	ン	フ	シ	エ	ン	ヨ
キ	ク	シ	ボ	ウ	カ	イ
イ	セ	イ	ウ	ツ	セ	ミ
ト	ン	カ	ツ	テ	ツ	ヤ

応募の方法
ハガキに「解答」所属組合名「職場名」氏名「住所」を書いて、送ってください。正解者の中から抽選で5人に図書カードをおくりします。

送付先
〒530-0041 大阪市北区天神橋1丁目13-15 大阪クリンソウ会館4階 大阪自治体連「おおさか自治体の仲間」編集部
応募の締め切り/9月30日
正解と当選者の発表/2013年10月号の紙面に掲載

働く仲間のたすけあい 共済コーナー

必要最小限の保障を
掛金の安いセット共済でカバーして

いちばん確かで自由に使える

現金貯蓄=自己保険がオススメです

優れものの共済に入って
自分で自分を保険する

ファイナンシャルプランナー
松山 陽子さん



組合で扱っている共済は優れものです。特に「セット共済」がいまいちと思うのは1年更新だから。子どもの成長に合わせて何年かの間隔で掛金と保障を見直すことができる非常に合理的な内容ではないかと思います。

もう一つは、自分で自分を保険することです。いままで高く払っていた民間保険をやめて、共済にすることによってお金が浮いてきます。そのお金を貯蓄に回せば、万が一、何があっても、そのお金は十分に使えます。

ファイナンシャルプランナーとしては、労働組合の共済に入り、貯蓄を増やすことをお勧めします。

民間の終身保険を「共済」と「貯蓄」という新しい発想で提案します

民間終身保険の保険料は期間限定保険の数倍も高額です。

でも、もし老後に介護が必要になった場合、保険料のごく一部の解約返戻金しか受け取れません。

たとえば終身保険料25,000円/月を20年払った場合、600万円になります。

600万円があれば、介護保険負担金にも医療費にも自由に使えます。だから、将来への備えの一つに「いちばん確かで何にでも使える貯蓄=自己保険」を増やすことが大切、と考えるのです。

安い掛金で大きな保障の「セット共済」に切り替えて、保険料の差額を貯蓄に回し、安心の老後を送れるようにすることを提案します。